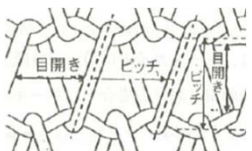
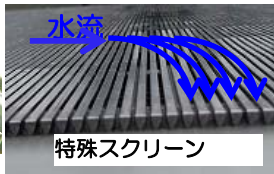
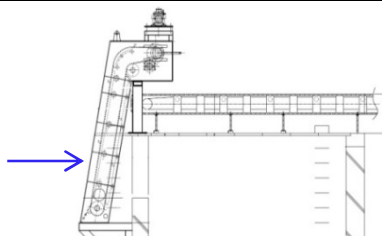
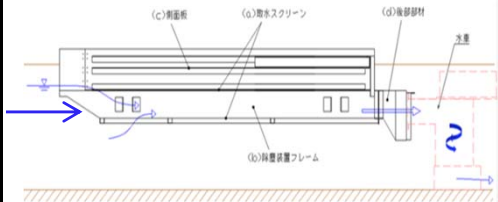


技術開発の概要

平成26年度より3カ年で課題分析から除塵機製作・実証、マニュアル作成を実施した。
2地点で行った実証試験の概要は以下のとおり。

設置箇所	100kW～10kWクラス	極小クラス
設置箇所	新潟県津南町雑水山地点	三重県多気町立梅用水地点
除塵型式	鋼板ネット式	特殊スクリーン式
除塵型式の概要	・ステンレス平鋼を格子状(ネット状)に成形。奥行きが深いため、繊維質等の絡みつきの防止し塵芥の剥離が容易。 ・スクリーンとレーキが一体型で回転する構造であり、塵芥の挟まり等による機能停止が少ない。 ・スクリーンの破損時は部分的な取替えが可能。   従来型 今回採用	・人手を介さない無電動式の除塵装置を選定。 ・スクリーンから水のみを取水し、塵芥を下流へ流す構造。流速の早い溪流での採用実績有。 ・特殊スクリーンは鋼棒で逆三角形形状(1mm)。比較するため一般的なメッシュ(丸棒で30mm)の2種類を用意。   スリッド幅30mm スリッド幅1mm
概要図		
評価	・スクリーンが塵芥の絡みつきの防止、塵芥はほぼ回収でき、十分な除塵効果が確認された。	・特殊スクリーンでは、塵芥の巻付きが無く、十分な除塵効果が確認された。 ・頻繁な塵芥除去作業は不要となるが、藻の発生等によりある程度の頻度での清掃は必要である。
今後の更なる改善点・工夫点	・今後、オーダーメイドではなく、規格品(LMSサイズ)によるコストダウンが望まれる。	・設置場所として水路流速をある程度確保出来る落差工への設置が効果的。溪流取水で使用するチロリアン方式(流水と直角方向の取水)等が望ましい。 ※右図: チロリアン方式 出典: 日本エンジニアHPウォータースクリーン 

除塵機の選定については、本技術開発においてマニュアルを作成しているので参考にされたい
URL: [www:// http://www.tgn.or.jp/teg/](http://www.tgn.or.jp/teg/)